

ブダペスト 2023 世界陸上競技選手権大会 競歩日本代表選手選考要項

1. 編成方針

ブダペスト 2023 世界陸上競技選手権大会では、2024年パリオリンピックの成果を最大化するための戦略として、以下の2つの目的を重視した選考によって選手団を編成する。

- 1) 本大会でメダルを獲得することによって、パリオリンピックにおける金メダル獲得につなげる。
- 2) 本大会で入賞することによって、パリオリンピックにおけるメダル・入賞につなげる。

2. 開催地

ブダペスト (ハンガリー)

3. 開催期間

2023年8月19日(土)～8月27日(日)

4. 開催種目

(1) 男子

20km 競歩、35km 競歩

(2) 女子

20km 競歩、35km 競歩

5. 主なスケジュール

2021年

12月1日 男女 35km 競歩資格記録有効期間開始

2022年

1月31日 男女 20km 競歩資格記録有効期間開始

2023年

4月中旬 全選考競技会終了

4月下旬 第1次日本代表選手発表

男女 20km 競歩、男女 35km 競歩の参加標準記録突破者による選考

5月30日 男女 35km 競歩参加標準記録有効期間終了

6月上旬 第2次日本代表発表

男女 35km 競歩のワールドランキング含めた選考

7月30日 男女 20km 競歩参加標準記録有効期間終了

8月上旬 第3次日本代表発表

男女 20km 競歩のワールドランキング含めた選考

6. 選考競技会

- (1) 男子 20km 競歩・女子 20km 競歩
- ・第 106 回日本陸上競技選手権大会・20km 競歩 (2023/神戸)
 - ・第 47 回全日本競歩能美大会 (2023/能美)
- (2) 男子 35km 競歩・女子 35km 競歩
- ・第 59 回全日本 35km 競歩高島大会 (2022/高島)
 - ・第 107 回日本陸上競技選手権大会・35km 競歩 (2023/輪島)

7. 資格記録

ワールドアスレティックス (以下「WA」という。) が定める参加標準記録、ワールドランキングにかかる資格記録の有効期間は下記の通り。

男女 20km 競歩 2022 年 1 月 31 日～2023 年 7 月 30 日

男女 35km 競歩 2021 年 12 月 1 日～2023 年 5 月 30 日

(1) 参加標準記録

種目	男子	女子
20km 競歩	1 時間 20 分 10 秒	1 時間 29 分 20 秒
35km 競歩	2 時間 29 分 40 秒	2 時間 51 分 30 秒

(2) 派遣設定記録

種目	男子	女子
20km 競歩	1 時間 19 分 30 秒	1 時間 28 分 30 秒
35km 競歩	2 時間 27 分 30 秒	2 時間 46 分 00 秒

※派遣設定記録の有効期間は、参加資格記録の有効期間に準じる。

8. オレゴン 2022 世界選手権優勝者のワイルドカードの権利行使

2022 年に開催されたオレゴン世界選手権の男女 20km 競歩の優勝者には、今大会の男女 20km 競歩の参加資格が与えられ、男女 35km 競歩の優勝者には今大会の男女 35km 競歩の参加資格が与えられる。

ワイルドカードによる参加資格は、各国に割り当てられた 1 カ国 3 名とは別枠として認められる。

9. 選考基準

編成方針に基づき、WA が定める本大会の参加資格を満たした競技者の中から日本代表選手を選考する。

種目ごとの内定条件と選考条件を、下記のとおり定める。

下記においては、項目の数字が若い順に優先するものとする。また、条件の充足に必要な競技会における順位については、より優先順位の高い項目により選考される競技者は含めずに数えるものとする。

(1) 内定条件

1) 男女 20 km 競歩

- i) ワイルドカードによる参加資格を得た競技者。

ii) オレゴン 2022 世界陸上競技選手権大会で 3 位入賞以内の成績を収めた日本人最上位の競技者で、2023 年 1 月 1 日から 4 月 30 日までに、WRK 対象競技会において参加標準記録を満たした競技者。

iii) 第 106 回日本陸上競技選手権大会・20km 競歩（2023／神戸）最上位者で、全選考競技会終了時点までに WRK 対象競技会において派遣設定記録を満たした競技者

2) 男女 35km 競歩

i) ワイルドカードによる参加資格を得た競技者。

ii) オレゴン 2022 世界陸上競技選手権大会で 3 位入賞以内の成績を収めた日本人最上位の競技者で、2023 年 1 月 1 日から 4 月 30 日までに、WRK 対象競技会において参加標準記録を満たした競技者。

iii) 第 107 回日本陸上競技選手権大会・35km 競歩（2023／輪島）最上位者で、全選考競技会終了時点までに WRK 対象競技会において派遣設定記録を満たした競技者

(2) 選考条件

1) 全選考競技会終了時点までに参加標準記録を満たした競技者で、各選考競技会において 3 位以内の競技者の中から各選考競技会での記録・順位・レース展開・タイム差・気象条件等を総合的に勘案しつつ、歩型違反による失格のリスクの程度も併せて勘案し、本大会で活躍が期待されると評価された競技者。

2) 参加資格を満たした競技者で、各選考競技会において日本人 3 位以内の競技者の中から、各選考競技会での記録・順位・レース展開・タイム差・気象条件等を総合的に勘案しつつ、歩型違反による失格のリスクの程度も併せて勘案し、本大会で活躍が期待されると評価された競技者。

10. 選考方法

(1) 選考基準 (1) 1)、2) による選考は、即時内定とし、専務理事が承認することにより決定する。

(2) 選考基準 (2) 1) による選考は、全選考競技会終了後、編成方針及び選考基準に則り、強化委員会が原案を作成し、選考委員会の議を経て、専務理事が承認することにより決定する。

(3) 選考基準 (2) 2) による選考は、男子 20km 競歩については、WA から本大会の出場有資格者が発表された^{※1}後、男女 35 km 競歩については、参加資格記録有効期間終了後^{※2}、各々、編成方針及び選考基準に則り、強化委員会が原案を作成し、専務理事が承認することにより決定する。

※1 2023 年 8 月 2 日発表予定

※2 WA による出場有資格者発表前であるので、参加資格を有することの確定を条件とする選考となる。

11. 本大会の成績によるパリオリンピックの内定について

男子 20km 競歩、女子 20km 競歩において、別途定める条件を満たせば内定とする。

※男女 35 km 競歩については、パリオリンピックの種目は発表されているが、その参加人数などが現段階では発表されていないため、わかり次第定める可能性がある。

12. 補足

(1) 代表選手は、編成方針及び選考基準に則り、WA が定める参加資格有効競技会において選考されるが、その派遣人数は WA が定めるエントリー数の上限の枠を保證するものではない。

- (2) 代表選手は本連盟が定める義務を遵守するものとする。
- (3) 下記の項目に該当する場合は、代表選考を取消すことがある。
 - 1) アンチ・ドーピング規則に反した場合
 - 2) 故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合
 - 3) 本連盟が定める義務を遵守しない場合
- (4) 代表選手の決定から本大会までの期間が長いことに配慮し、補欠を選考することができる。ファイナルエントリーまでに正選手に故障などが生じた場合は、補欠が正選手となり本大会に出場する。
- (5) WAによる本大会の出場有資格者発表後に参加資格を有する者が追加された場合、補欠を選考する場合並びに選考された選手の辞退または取消しがあった場合の選考については、適宜の時期に、選考基準(2) 1) 及び2) の基準(選考方法(3)によりその時点までの選考において適用するものとされているものに限る)に従い、選考方法(3)に準じる選考方法により、選考するものとする。
- (6) 天災、疫病の流行その他の理由による選考競技会の開催中止またはその開催方法等の変更(IRWJ招聘に支障が生じたためにWRK対象競技会とならない場合等)に伴い、選考競技会及び選考基準について、専務理事の決定により、変更することができる。ただし、選考基準について基本的な考え方の変更を伴う場合には、理事会の決議を要するものとする。

以上